

学校法人大阪YMCA  
YMCA学院高等学校 (広域通信制・総合学科)



2024年6月20日  
校長 鍛冶田千文

1844 イギリス・ロンドンにYMCA誕生 SPIT・MIND・BODYのバランスのとれた人の育成  
1882 大阪YMCA誕生 社会教育団体として全人教育を実践  
2002 YMCAの資源・リソースを活用した広域通信制・総合学科・YMCA学院高等学校を開校



大阪YMCA ①公益財団法人 ②学校法人(大阪) ③学校法人(兵庫) ④社会福祉法人

②学校法人(大阪) 平和を創る人を輩出する

( 1 ) 大阪YMCAインターナショナルスクール

( 2 ) 大阪YMCA学院

( 3 ) 大阪YMCA国際専門学校 専門課程  
高等課程 国際学科 / 表現・コミュニケーション学科

( 4 ) **YMCA学院高等学校 ( 広域通信制 )**

( 5 ) 大阪府立水都国際中学校・高等学校

## 概要

### ◇在校生数

本校数 604名  
連携校 242名

- ・東京YMCA高等学院
- ・大阪YMCA国際専門学校
- ・神戸YMCA高等学院
- ・和歌山YMCAセンター
- ・名古屋YWCA高等学院

総数 846名

### ◇関わる学校、つながる学校

### ◇週1回～週5日

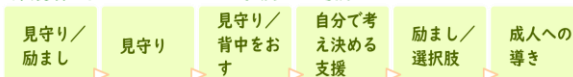
特色あるコース

### ◇比較的落ち着いた雰囲気

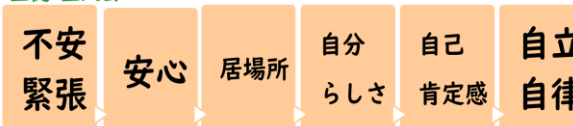
### ◇経験が浅い若い教員が多い

## 学びと成長のプロセス

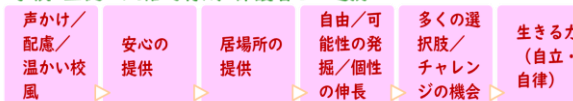
### 保護者:子どものサポート・学校との連携



### 生徒:主人公



### 学校:生徒の人格的育成・保護者との連携



◇3つのケア

学習・こころ・身体

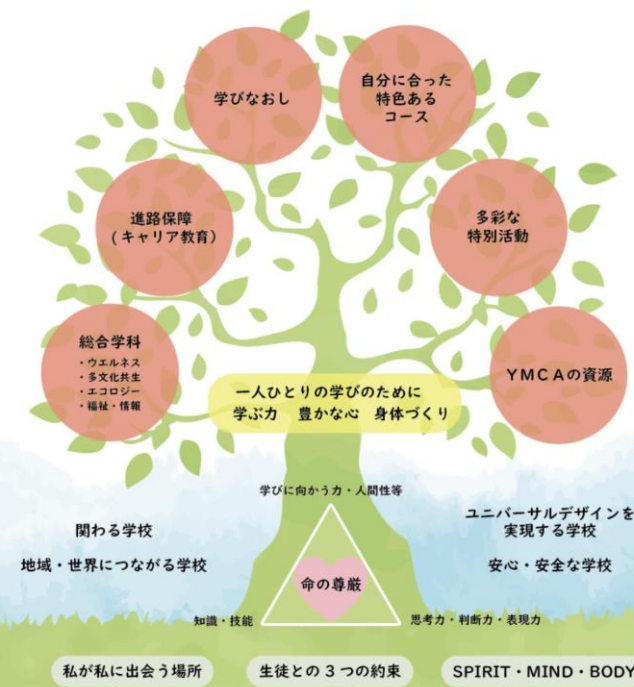
## YMCA 学院高等学校 グランドデザイン

### 教育方針

- ・あなたのペースであならしく過ごせます
- ・一人ひとりを尊重し、大切にそして皆さんを信頼します
- ・進む路についていろいろな人と、ともに考えられることを願っています
- ・イエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学びます
- ・あなたとあなたの周りの人を生かし、共に生きる社会をめざします

### 育みたい生徒像

- ① 自分を好きになる (自己肯定感)
- ② 想像し、やりたいことを叶える (創造力・自己表現力)
- ③ 多様な人と共に生きる (共生)
- ④ 希望をもって歩む (生きる力、折れない心)
- ⑤ 客観的に物事をとらえる (批判的思考力)



## 生徒との3つの約束

### 1) 自分を大切にします

一人で悩まず相談する(助けてもらう)、法律を守る

### 2) 自分と同じように周りの人を大切にします

周りの人の学びを大事にする、気持ちよくお互いが過ごせるように気をつける

### 3) 自分の学びをあきらめず、自ら学ぶ姿勢を大切にします

例えばスクーリングに取り組む、学校とつながる(情報に触れる)



## 背景

◇生徒の9割以上が不登校経験をもち、発達障害や起立性調節障害等多様なニーズをもつ生徒が年々増加、安心して高校生活を送れるよう、合理的配慮を定着させることが必要であった

◇大阪YMCAは1996年より発達障害児への療育を実施、発達相談やカウンセリング等を行うYMCA総合教育センターを設置しているなど専門性の高いスタッフが法人内にいた

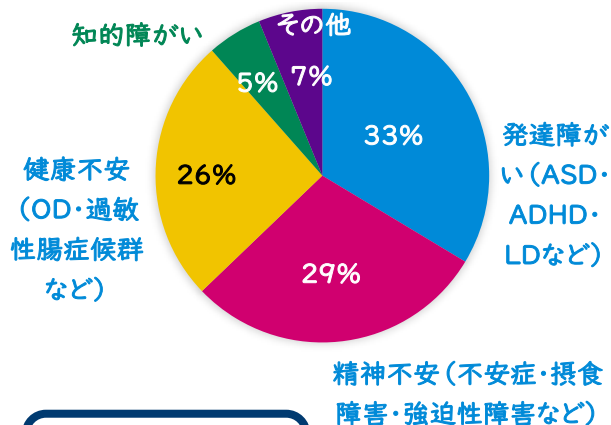
## 経緯

◇2019年度、特別支援教育コーディネーターを指名  
前期:教職員に合理的配慮の研修、理解を深める  
後期:保護者に「合理的配慮を厚くする」と告知、合理的配慮開始

◇2020~2021年度「学務の手引き」に合理的配慮について記載、周知

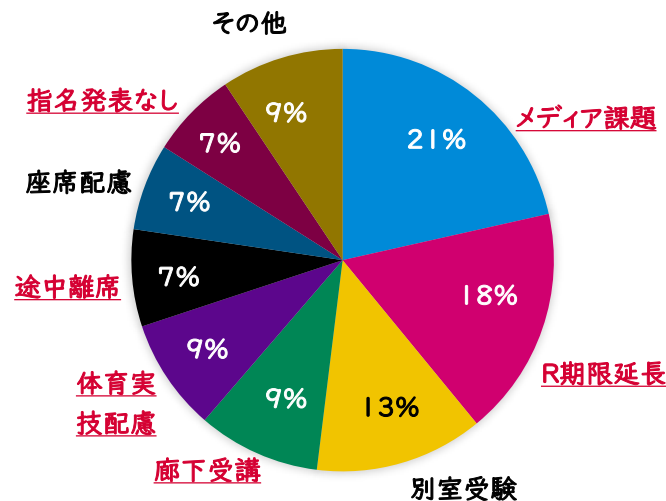
◇2022年度~「合理的配慮提供手続きマニュアル」が完成。全保護者に同マニュアルを配布

## 合理的配慮申請状況



合理的配慮申請者  
総数  
154名 25.4%

## 合理的配慮実施内容



## UDL(学びのユニバーサルデザイン)

- ◇誰もが安心して主体的に高校生活を送れるように
- ・UDフォント活用
  - ・やさしい日本語ガイドライン活用(文化庁)
  - ・オンラインヘルスケア(健康講座)
  - ・サイレントフロア
  - ・サイレントランチルーム等

### 授業の受け方





# 合理的配慮／UDL (学びのユニバーサルデザイン)



廊下受講



サイレントフロア



個人フリーブース

## 個人フリーブース

個室で使用できる場所です。  
1人で落ち着いて過ごしたい時に  
自由に使用してください。

**\* 現在空いています \***

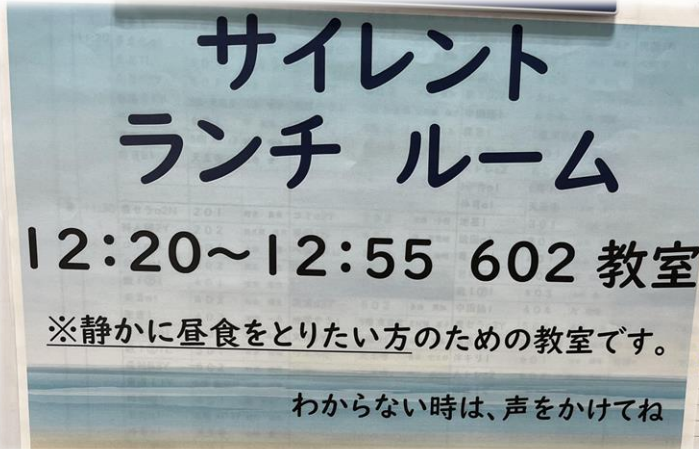
使用のルール



ひとりで静かに



使用の際は裏面の  
使用中の向きに



サイレントランチルーム



## 課題・背景

- ◇生徒への心 (SPRIT)と学び (MIND)のケアには取り組んでいたが、身体 (BODY)のケアには十分に組み込んでいなかった
- ◇起立性調節障害 (OD)など健康に不安のある生徒たちが多く在籍
- ◇生徒の中には通学ができない、また体調を理由に卒業延期や退学するケースもあり、身体づくりへの支援をすることに決める

## ねらい

- ◇生活習慣リズムを保つこと、脳血流量を促進させるために特に下肢に力点を置いたトレーニングを行うことと活動量を増大させる
- ◇オンラインアプローチにより、体調により外出できない生徒が自宅で取り組み、症状の改善をめざす
- ◇体を動かす楽しさを知り、同じ境遇の仲間と出会い、病気に立ち向かう力を養う
- ◇活動を通して、自己効力感を向上させ、学びをあきらめない意識を高める

## 対象・場所・運営

- ◇対象:起立性調節障害生徒および予備軍
- ◇場所:学校・生徒自宅(オンライン)・六甲山YMCA(キャンプ)他
- ◇関西医科大学、東京都立大学大学院、公益財団法人大阪YMCAと連携し、プロジェクトを進める
- ◇2021~2023年度 大阪府の学校経営推進費を活用

## 実施内容

- ◇有識者と教職員で構成する推進委員会を設置し、対象生徒理解とプログラム留意点と構成の確認。及び自己効力感意識調査等の調査方法や必要物品等の検討を行い、専門的見地からの指導・助言を関西医科大学より、東京都立大学より運動アプリの助言を受けた
- ◇活動を3つの段階に分け、各プログラムを実施、各段階ごとのねらいの設定、実施した
  - <第1段階>健康プログラムへの参加意思の確認。
  - <第2段階>オンラインによる家庭で出来る遠隔プログラム、「運動と基礎知識学習」指導(仲間づくりⅠ~Ⅲ)
  - <第3段階>リアル集合プログラム(仲間づくりⅣ)

5月	健康の集い (医師による学習と親子別のつどい)
5月 ~ 9月	オンラインヘルスケア講座(15回) (レクリエーション・ストレッチ・トレーニング・ヨガ)「運動と基礎知識」 (仲間づくりⅠ~Ⅲ)・効果測定
8月	ODキャンプ実施 六甲山YMCA 参加者 22名 卒業生4名 教員3名 公財引率2名 医師・看護師各1名 計33名(仲間づくりⅣ)
10月 ~ 3月	オンラインヘルスケア講座(15回) ・健康の集い(仲間づくりⅠ~Ⅲ)・ 効果測定
3月	ハイキング(仲間づくりⅣ)

## 成果

- ◇客観的評価 開始時と終了時
  - 「CS-30」(下肢筋力測定)  
平均173%の増加が見られた
  - 「歩数変化」(活動量測定)  
平均142%の増加が見られた  
活動不足であったものが家庭内でも体を動かす機会が増加した。\*以下主観的評価同様
- ◇自分の居場所と病気に立ち向かう意欲が育ってきた <以下参加者感想>
  - ・入学当初、ODのため朝起きれず学校へ行けなかったが、オンラインプログラムに参加することにより徐々に体調が整い学校に行けるようになった
  - ・自己肯定感が高まり学校内外のイベントに積極的に参加したり、人前で発表したりできるようになった
- <ODキャンプ感想>
  - ・自分が必要とされることで充実した時間を過ごせることに気づいた
  - ・同じ病気の人と話ができて、自分だけじゃないと思うことができた
  - ・学校に行けるようになった理由が友だちが関わっていることに気づいた
- ◇主観的評価「セルフ・エフィカシー尺度」  
自己効力感評価において  
(2022年3月・2023年9月 18ヶ月検証)  
統計解析はSPSS Ver.29を用いてWilcoxon順位和検定を実施  
運動プログラム前後では $p=0.063$ とわずかに有意差を得るに至らなかった  
(有意差は $p$ 値  $<0.05$ )  
複数年での取り組みを行えば自己効力感の向上が見られると考えられる

# その他の取組例



## 生徒支援

- ◇教員・管理職・SSW・養護教諭・アドバイザーによる生徒支援部会を中心に生徒対応を検討、カウンセラーと有機的につながる
- ◇SSWが常駐。
- ◇臨床心理士・公認心理士・キャリアコンサルタント・特別支援教育士の資格をもつ教員

### ◇わいわいカフェ

- 居場所のひとつとして
- ◇コネクションズおおさか

### ◇心の勉強会(+交流会)

- ピアサポート  
(メンタルヘルスの正しい知識・共感)
- ◇(テーマ)発達障害・ASD・うつ等

### ◇ひらく時間

- 自主性・主体性を育む居場所
- 生徒たちが創っていく空間(企画運営)

### ◇ボランティア活動

- 多くの体験から職業観・自己有用感を得る
- ・学校・YMCA・天王寺区市民協働課
- ・天王寺区社会福祉協議会等

### ◇わいわいプラザ(保護者対象)

- 専門家による研修
- 相談・グループでのわかちあい

## 外国にルーツのある生徒への日本語教育 トランスリンガルコース

- ◇日本語科目 (20 単位)
- ◇日本語未学習の生徒には日本語集中講座
- ◇イラク・ウクライナ・タイ・台湾・中国・ベトナム・ペルー・フィリピン・ネパール(2024年度在籍生)
- ◇大阪YMCA青少年支援金(奨学金)

## 通学に不安な生徒のための Yリンクコース

- ◇各期に集中スクーリング(10~20日)
- ◇毎週オンラインでHRとヘルスケア講座
- ◇学習支援・イベントで人とつながる
- ◇ハイブリッド型の面談
- ◇各学期ごとにコース変更可

## 学習支援・進路

- ◇学び直し
- ◇レポートサポート
- ◇コース制はクラス支援員が補助
- ◇進学コース
- ◇進路ガイダンス(一斉・対象別)

## 一般社団法人 ひらくとの連携

- ◇ディスレキシアや卒業後の進路をきめかねている卒業生のために、非常勤講師が「ひらく学校」をたちあげる
- ◇多様な生き方や進路(働き方)を見出すために、生徒と多様な人(職業人・地域)をつなげ、双方向での体験を通して学ぶ
- ◇(23年度)  
プログラム実施 53回(校内・校外)  
年間 延862人参加  
職業・地域の人27種類

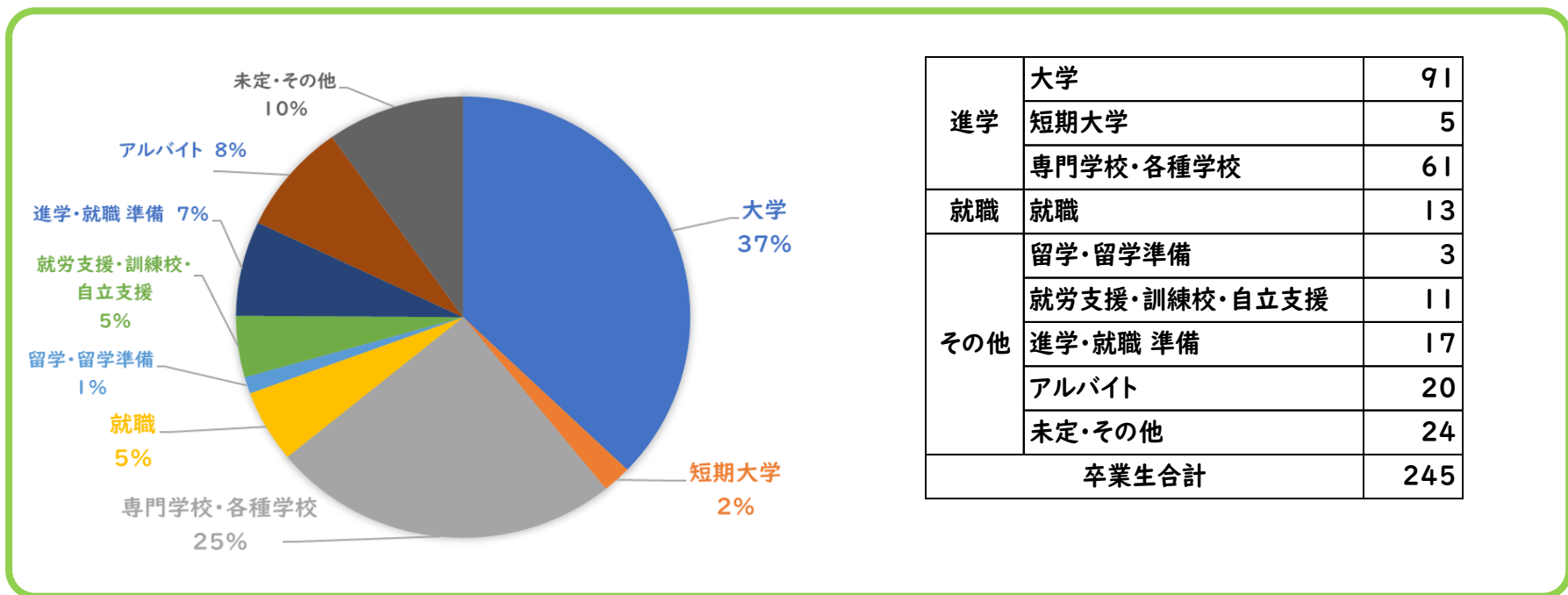
## 海外関係

- ◇海外留学
- ◇とびたて留学JAPAN
- ◇ソウルYユースカンファレンス  
ソウルY大阪Y合同阿南キャンブ  
香港Y・台湾Yスタディツアー等

## 教職員のチーム作り

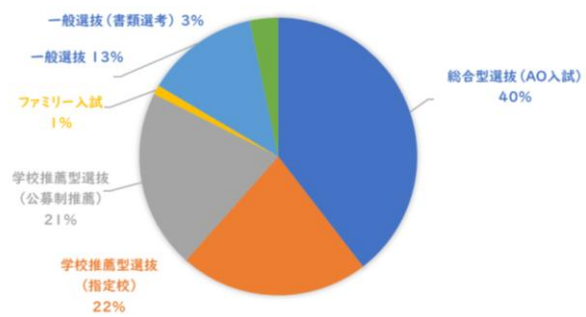
- ◇働きやすい職場づくり
- ◇プロセス重視の会議
- ◇一人ひとりにあったキャリアパス
- ◇新人教員へのメンター制度

# 2023年度 進路状況



進学	大学	91
	短期大学	5
	専門学校・各種学校	61
就職	就職	13
その他	留学・留学準備	3
	就労支援・訓練校・自立支援	11
	進学・就職準備	17
	アルバイト	20
	未定・その他	24
卒業生合計		245

## 大学進学者 選抜別割合



総合型選抜 (AO入試)	36
学校推薦型選抜 (指定校)	20
学校推薦型選抜 (公募制推薦)	19
ファミリー入試	1
一般選抜	12
一般選抜 (書類選考)	3
合計	91

## 大阪府認可通信制グループ<sup>o</sup> (12校)

通信制高校校長研究会 (中高連内)

- ◇ 合同教員研修会 (中学教員対象)
- ◇ 合同相談会 (生徒・保護者・教員対象)
- ◇ 合同求人・進学説明会等 (在校生対象)



